

会計名							担当部	都市政策部	
一般会計			公共施設連絡バス運行管理事業				担当課	都市交通課	
款	項	目					担当係	運輸係	
8	4	1							
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	公共交通の充実						
	目的	市内公共施設等を結ぶ連絡バスを運行することで、公共施設利用の利便性の向上を図るとともに、広く一般市民、特に交通弱者と言われる高齢者等の積極的な社会参加と、渋滞緩和や環境負荷低減等の観点から、通勤通学の利用を促進する。	主たる内容	○運行路線 6路線（始発～終着） 東境線（刈谷ハイウェイバス～ひまわり） 西境線（洲原温水プール～ひまわり） 小垣江線（小垣江駅東口～逢妻駅南口） 東刈谷線（半城土町大原～生きがいセンター） 一ツ木線（総合運動公園～市役所） 依佐美線（東刈谷駅北口～小垣江駅西口） ○運行回数 1日8往復（東境、西境、小垣江、東刈谷） 1日5往復（一ツ木、依佐美） ○利用料金 無料 ○バス路線の再編（H31.4.1改正）					
	位置づけ	関連計画	刈谷市都市交通戦略、環境都市アクションプラン、衣浦定住自立圏共生ビジョン						
		根拠法令	刈谷市公共施設連絡バス運行事業実施要綱						
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成9年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B D O 実績	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		・総利用者数 700,656人 東境線 135,602人 西境線 151,402人 小垣江線 170,728人 東刈谷線 124,650人 一ツ木線 62,819人 依佐美線 55,455人		・総利用者数 713,962人 東境線 133,509人 西境線 154,944人 小垣江線 177,688人 東刈谷線 126,641人 一ツ木線 64,184人 依佐美線 56,996人		・総利用者数 720,149人 東境線 131,955人 西境線 160,726人 小垣江線 175,498人 東刈谷線 130,179人 一ツ木線 64,772人 依佐美線 57,019人 ・バスの愛称を「かりまる」とし、路線の一部見直し及びダイヤ改正の実施		・総利用者数 727,000人	
成果		・路線の充実や増便により順調に利用者数をのばしてきた。 ・バス車両への有料広告掲載を希望する広告主を募集し、平成30年度は3,305千円の広告収入を得られた。							
課題		・バス増便やバス停まで遠い地区への乗り入れの要望等に対し検討する必要がある。 ・愛称の公募などを検討する必要がある。							
C コスト	指標名称（単位）		実績値			目標値			
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
	成果指標	利用者数（人）	700,656	713,962	720,149	727,000	741,000		
	指標								
他市との比較検証	近隣市では、規模の大小や有料・無料の違いはあるが、各団体がコミュニティバスを運行している。 安城市 あんくるバス《11路線 利用料100円》、碧南市 くるくるバス《2路線 利用料無料》、知立市 ミニバス《5路線 利用料100円》、高浜市 いきいき号《5路線 利用料100円》								
建設事業	単位：千円	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳			
	事業費①	233,693	305,220	319,013	346,406	合計	319,013,498円		
	財源	特定財源	1,798	2,516	3,489	1,388	需用費	1,761,225円	
		一般財源	231,895	302,704	315,524	345,018	委託料	315,556,172円	
	職員人件費②	7,034	10,856	13,502	12,384	使用料及び賃借料	1,696,101円		
	総事業費（①+②）	240,727	316,076	332,515	358,790				
建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		30年度特定財源名称					
	30年度までの累積事業費	0		広告料収入 バス待機場市町負担金 バスロケーションシステム市町村負担金					
	2年度以降の事業費見込	0							

会計名			公共施設連絡バス運行管理事業	担当部	都市政策部
一般会計				担当課	都市交通課
款	項	目		担当係	運輸係
8	4	1			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	高齢者等の移動手段を確保し積極的な社会参加、渋滞緩和や環境負荷低減等の観点から、市民の移動環境の向上のためには不可欠と考えている。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	利用者は年間70万人を超え、近隣市に比べても多くの方に利用していただいているという点では効果が大きいと考えられるが、経費面や運行形態等、今後改善できる余地は多いと考えられる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	市民の公共施設の利便性を図るとともに、高齢者等の積極的な社会参加を促進するため、市内全域を無料で運行していることから市民生活にとって欠くことのできない移動手段として、市が主体となって実施する事業としている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	市民サービスへの効果は十分あると考えられるが、施策への貢献や目標の達成に向け、今後、運行形態等の改善を検討していく。
	今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
	都市計画マスタープランでは、歩いて暮らせる都市づくりに向け、鉄道やバスなどの公共交通が主体となったネットワークの形成を目指すとしている。 また、利用者からは所要時間の短縮、増便やバス停まで遠い地区への乗り入れなどの要望もある。 鉄道・自転車との連携など公共交通ネットワーク構築に向けた検討を行い、公共交通（バス交通）の利便性向上を図る必要がある。				

会計名			公共施設連絡バス停留所整備事業				担当部	都市政策部	
一般会計							担当課	都市交通課	
款	項	目					担当係	運輸係	
8	4	1							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	公共交通の充実						
	目的	公共施設連絡バス停留所の待合環境を整備することで、市民の移動利便性を高める。		主たる内容	○バスロケーションシステムモニター設置 ○バス停照明器具設置 ○バス停改良工事				
	位置づけ	関連計画	刈谷市都市交通戦略						
		根拠法令							
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		・バス停照明器具設置 6箇所 ・バス停改良工事 2箇所 ・依佐美中学校バス停に上屋等の設置 1箇所		・バスロケーションシステムモニター設置 3箇所 ・バス停照明器具設置 13箇所 ・バス停改良工事 9箇所		・バスロケーションシステムモニター設置 2箇所 ・バス停照明器具設置 12箇所 ・バス停改良工事 16箇所		・バスロケーションシステムモニター設置 3箇所 ・バス停照明器具設置 10箇所 ・バス停改良工事 9箇所	
成果		利用者が快適にバス利用できるよう、ミササガパークバス停他12箇所に照明器具を設置した。また、バスロケーションシステムモニターを市役所・刈谷ハイウェイオアシス・ひまわりの各バス停に設置したことにより、利用者の利便性を向上させることができた。							
課題		公共施設連絡バスの利用者数が多いバス停等に、照明器具及びバスロケーションシステムモニターを順次設置していく。							
O 実績 V	指標名称（単位）			実績値			目標値		
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
	成果指標	バスロケーションシステムのアクセス数（件）		—	1,235,020	1,637,273	1,700,000	1,800,000	
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト 建設事業	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		3,525	10,760	10,462	10,136	合計	10,461,960 円	
	財源	特定財源	0	3,510	2,147	0	委託料	495,720 円	
		一般財源	3,525	7,250	8,315	10,136	工事請負費	6,480,000 円	
	職員人件費 ②		2,071	3,606	3,703	3,793	備品購入費	3,486,240 円	
	総事業費（①+②）		5,596	14,366	14,165	13,929			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0		地方創生推進交付金					
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			公共施設連絡バス停留所整備事業	担当部	都市政策部
一般会計				担当課	都市交通課
款	項	目		担当係	運輸係
8	4	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 		高い	市民の移動手段として公共施設連絡バスの利便性を高め、充実させることができる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 		普通	利用者が、バス停留所の表示機、携帯電話からバスの接近運行情報の閲覧することで、目的地への到着時刻を把握することができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 		高い	市民の移動手段としてのコミュニティバスである公共施設連絡バスの利便性を高めるため妥当性は高い。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 		高い	利用者が、快適にバス利用ができています。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
公共施設連絡バスの利用者の安全性・利便性向上を図るため、IT技術を活用した運用・情報提供の高度化・バス停やインターネット上でバスの現在位置情報を利用者が得ることができるシステムの提供を行う。また、車内で乗換えの待ち時間を知ることなど、利便性の充実について検討していく。					

会計名 一般会計		ユニバーサルデザインタクシー購入費補助				担当部	都市政策部		
款	項	目	事業			担当課	都市交通課		
8	4	1				担当係	運輸係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	公共交通の充実						
	目的	親子連れ、高齢者、障害者をはじめ、誰もが快適に利用できる交通環境の整備を推進する。			主たる内容	ユニバーサルデザインタクシーを購入するタクシー事業者に対し、補助金を交付する。 ○補助額 1台当たり30万円			
	位置づけ	関連計画	刈谷市都市交通戦略						
			根拠法令	刈谷市補助金等交付規則					
		対象者	刈谷市を営業区域のタクシー事業者		事業期間	平成30年度 ~			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
						・補助台数 7台		・補助台数 10台	
成果		・平成30年度は、210万円の補助事業							
課題									
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
活動指標	補助台数（台）			—	—	7	10		
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	2,100	3,000	合計 2,100,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 2,100,000 円		
		一般財源	0	0	2,100	3,000			
	職員人件費 ②		0	0	332	372			
	総事業費（①+②）		0	0	2,432	3,372			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			ユニバーサルデザインタクシー購入費補助 事業		担当部	都市政策部
款	項	目			担当課	都市交通課
8	4	1			担当係	運輸係
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価				評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	子育て世帯、高齢者、障害者をはじめ誰もが、安心・安全で快適に利用することができる。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	事業者への補助という形をとっているため、費用を低減できている。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	バリアフリー化等、移動手段として、障害が解消されるような地域公共交通の確保・維持・改善を支援するため、公共交通施策として取り組む必要がある。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	高齢者、障害者をはじめ誰にとっても暮らしやすいまちづくり、社会づくりを進めるため、公共交通のバリアフリー化を一体的に支援し、成果を上げている。	
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止			

会計名		都市交通計画調査推進事業				担当部	都市政策部		
一般会計						担当課	都市交通課		
款	項					目	担当係	道路計画係、拠点計画係	
8	4					1		運輸係	
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	総合交通対策の推進						
	目的	平成24年6月に策定した都市交通戦略を推進し、基本理念である「ひとと環境にやさしく、持続可能な都市交通体系」の構築を目指す。		主たる内容	都市交通戦略に掲げる施策を実施する。 ○幹線道路計画調査 ○交通課題の把握 ○公共施設連絡バスの運行状況調査 ○移動手段適正化に向けた調査・検討				
	位置づけ	関連計画	刈谷市都市計画マスタープラン、刈谷市環境都市アクションプラン、衣浦定住自立圏共生ビジョン						
		根拠法令							
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成24年度～令和12年度			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B D O A 実 施	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 幹線道路に係る調査・検討 渋滞箇所の対策検討 刈谷駅及び刈谷駅北口周辺の安全性・利便性確保に向けた調査・検討 ITS（高速道路交通システム）を活用した交差点安全対策の調査研究 		<ul style="list-style-type: none"> 刈谷市都市交通協議会開催 幹線道路に係る調査・検討 渋滞箇所の対策検討 刈谷駅及び刈谷駅北口周辺の安全性・利便性確保に向けた調査・検討 公共交通（バス交通）に関する調査・分析 		<ul style="list-style-type: none"> 刈谷市都市交通協議会開催 幹線道路に係る調査・検討 都市交通戦略の見直しに向けた基礎調査 刈谷駅及び刈谷駅北口周辺の安全性・利便性確保に向けた調査・検討 バリアフリー基本構想改定に関する調査 		<ul style="list-style-type: none"> 刈谷市都市交通協議会開催 幹線道路に係る調査・検討 都市交通戦略の見直しに向けた調査・検討 バリアフリー基本構想の改定 	
成果		<ul style="list-style-type: none"> 自動車交通の円滑化に向け、新規幹線道路に関する調査検討を実施した。 刈谷駅及び刈谷駅北口周辺の安全性・利便性確保に関する調査検討を実施した。 バス交通に関する市民ニーズ、バス利用者ニーズの把握・分析を実施した。 平成31年度のバリアフリー基本構想改定に向けた調査検討を実施した。 							
課題		<ul style="list-style-type: none"> 総合交通対策を進めるために、市内企業と連携を図り、移動の円滑化などの施策を検討する必要がある。 							
	指標名称（単位）			実績値		目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
成果指標	自動車以外の交通分担率（%）			26.5	—	—	28.5	29.5	
成果指標	車や自転車などで移動しやすい道路と思う市民の割合（%）			67.4	—	68.8	68.8	—	
	他市との比較検証	・交通戦略は愛知県内8市町で策定されている。 （近隣市の自動車以外の交通分担率実績（第5次パーソントリップ調査（H23）） 刈谷市 35.1% 安城市 30.2% 豊田市 27.0% 小牧市 29.0% 岡崎市 32.0%）							
C 事業 コスト	単位：千円	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳			
	事業費①	149,475	129,447	136,974	36,691	合計	136,973,727円		
	財源	特定財源	41,440	61,618	2,762	1,200	報償費	559,200円	
		一般財源	108,035	67,829	134,212	35,491	旅費	769,990円	
	職員人件費②	17,584	27,916	33,563	32,121	委託料	135,642,987円		
	総事業費（①+②）	167,059	157,363	170,537	68,812	使用料及び賃借料	1,550円		
建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		30年度特定財源名称					
	30年度までの累積事業費	0		西三河知多地域道路調査検討業務負担金					
	2年度以降の事業費見込	0							

会計名			都市交通計画調査推進事業	担当部	都市政策部
一般会計				担当課	都市交通課
款	項	目		担当係	道路計画係、拠点計画係
8	4	1			運輸係
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	地域活力の向上、防災・減災対策の推進、交通弱者が安心かつ安全に移動できる移動環境の確保など、交通を取り巻く環境は近年大きく変化している。 市民の安全で快適な移動環境を確保するために、総合交通体系の確立は必要不可欠であると考えられる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	刈谷市都市交通戦略の効率的な推進にあたっては、市民、企業等と協働で事業を推進する必要がある、現在、一部事業においては協働で実施しており、効率性は図られていると考えている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	総合交通対策の推進主体として、市民、企業、交通事業者、官公庁など多岐にわたっている。 総合計画でも重点施策のひとつと位置づけられており、市がコーディネーターとして積極的に調整推進役を担う必要があると考えている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	様々な手段で移動できる交通環境が構築されることにより、市民サービスへの貢献度は高い。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
・総合交通対策の推進のため平成24年6月に策定した「刈谷市都市交通戦略」に掲げる施策の推進を図るとともに、中間改定に向けた調査検討を行っていく。					

会計名		公共施設サイン整備事業				担当部	都市政策部		
一般会計						担当課	都市交通課		
款	項					目	担当係	運輸係	
8	4					1			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	市街地・住環境						
		施策の内容	まちなみ・景観の充実						
	目的	市民及び来訪者に対して、主要な公共施設等の位置を適切に案内し、安全かつ円滑に移動できるようにする。		主たる内容	市内の主要施設の案内板（サイン）を整備する。				
	位置づけ	関連計画	公共施設サイン計画						
		根拠法令							
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成 元年度 ~			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実績	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		・野田新町駅の案内板の設置（2箇所）		_____		・歴史博物館及び依佐美送信所記念会館の施設案内版の設置（11箇所）		_____	
成果		野田新町駅北口に案内看板を設置することにより、市民及び来訪者の利便性が向上した。							
課題		公共施設の新設等による案内の必要性に応じ公共施設サインを設置していく。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
活動指標		充足率（%）		100	—	100	—	—	
成果指標		車や自転車などで移動しやすい道路と思う市民の割合（%）		67.4	—	68.8	—	—	
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		3,581	0	12,630	0	合計	12,629,520 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	12,629,520 円	
		一般財源	3,581	0	12,630	0			
	職員人件費 ②		1,524	0	3,171	0			
	総事業費（①+②）		5,105	0	15,801	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
		30年度までの累積事業費		0					
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			都市交通施設整備基金積立事業				担当部	都市政策部		
一般会計							担当課	都市交通課		
款	項	目					担当係	運輸係		
8	4	1								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	公共交通の充実							
	目的	道路、橋りょうその他の交通に係る施設（都市交通施設）を計画的かつ効率的に整備するための財源を確保する。	主たる内容	都市交通施設を整備するための基金を積み立てる。 基金対象施設 ○道路関連 ○公共交通関連						
	位置づけ	関連計画	刈谷市都市交通戦略							
		根拠法令	刈谷市都市交通施設整備基金条例第3条							
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成28年度～					
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	B 事業 D 実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		・2,000,000千円を基金に積み立てた。		・運用収入を基金に積み立てた。 ・3,500,000千円を基金に積み立てた。		・運用収入を基金に積み立てる。 ・2,000,000千円を基金に積み立てた。 ・繰り入れ 「市道01 - 4線他道路新設改良」他4事業		・運用収入を基金に積み立てる。 ・繰り入れ 「市道01 - 4線他道路新設改良」他4事業		
成果		・都市交通施設整備基金に積み立てた。								
課題										
O 実施 V	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
	活動指標									
	活動指標									
他市との比較検証										
C 事業 コスト 建設事業	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	3,501,794	2,005,312	8,740	合計 2,005,311,698 円			
	財源	特定財源	0	1,794	5,312	8,740	積立金 2,005,311,698 円			
		一般財源	0	3,500,000	2,000,000	0				
	職員人件費 ②		0	47	239	201				
	総事業費（①+②）		0	3,501,841	2,005,551	8,941				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0								
2年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			地方バス路線維持費補助事業				担当部	都市政策部	
款	項	目					担当課	都市交通課	
8	4	1					担当係	運輸係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	公共交通の充実						
	目的	乗合バス路線を維持存続することにより、愛知教育大学学生の通学手段を確保するとともに、北部地域と刈谷駅周辺への移動の利便性を向上させる。			主たる内容	名鉄バスが運行する刈谷・愛教大線を維持するため、経常費用と経常収益の差額を補助する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市都市交通戦略						
			根拠法令	刈谷市補助金等交付規則					
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	昭和19年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		利用者数 47,789人		利用者数 46,451人		利用者数 54,952人		利用者数 50,000人	
成果		刈谷・愛教大線と公共施設連絡バスとの連携等についてバス事業者と検討した。							
課題		今後は、利用者増に向け、引き続き公共施設連絡バスとの連携等を検討する必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
成果指標		利用者数（人）			47,789	46,451	54,952	50,000	50,000
活動指標									
他市との比較検証		市独自事業							
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		16,378	33,100	16,557	17,000	合計 16,557,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 16,557,000 円		
		一般財源	16,378	33,100	16,557	17,000			
	職員人件費 ②		586	853	887	1,355			
	総事業費（①+②）		16,964	33,953	17,444	18,355			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
		30年度までの累積事業費		0					
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			自転車等駐車場調査事業				担当部	都市政策部	
一般会計							担当課	都市交通課	
款	項	目					担当係	道路計画係	
8	4	3							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	総合交通対策の推進						
	目的	市内の駐輪場の利用状況を調査し、利用状況の推移を取りまとめることにより、駐輪場整備計画の基礎資料とする。			主たる内容	○刈谷駅等の周辺駐輪場の利用実態調査 市内駐輪場 27箇所 調査回数 1回/月			
	位置づけ	関連計画 刈谷市都市交通戦略							
		根拠法令	自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律						
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成28年度～		
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		・刈谷駅等の周辺駐輪場の利用実態調査 市内駐輪場 26箇所 調査回数 1回/月		・刈谷駅等の周辺駐輪場の利用実態調査 市内駐輪場 27箇所 調査回数 1回/月		・刈谷駅等の周辺駐輪場の利用実態調査 市内駐輪場 27箇所 調査回数 1回/月		・刈谷駅等の周辺駐輪場の利用実態調査 市内駐輪場 27箇所 調査回数 1回/月	
成果		・市内の自転車駐車場の利用状況とその推移を把握することができた。							
課題		・自転車駐車場の整備を計画的に推進していく必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		950	972	994	1,100	合計	993,600 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	993,600 円	
		一般財源	950	972	994	1,100			
	職員人件費 ②		977	775	772	1,161			
	総事業費（①+②）		1,927	1,747	1,766	2,261			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
		30年度までの累積事業費		0					
2年度以降の事業費見込		0							